

平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	広島県立県民の森		
所在地	庄原市西城町油木 156-14		
設置目的	すぐれた自然環境にある森林を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	公園センター(センター棟、宿泊棟)、全天候多目的施設(体育館)、キャンプ場、スキー場施設等		
指定管理者	4期目	H28.4.1~H33.3.31	楸比婆の森
	3期目	H23.4.1~H28.3.31	楸比婆の森
	2期目	H20.4.1~H23.3.31	楸比婆の森
	1期目	H17.4.1~H20.3.31	楸比婆の森

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
		4期	29~32	110,000人	—	—
28			110,000人	112,919人	△8,605人	2,919人(102.7%)
3期		27	105,000人	121,524人	△3,068人	16,524人(115.7%)
		26	105,000人	124,592人	1,206人	19,592人(118.7%)
		25	105,000人	123,386人	2,765人	18,386人(117.5%)
		24	105,000人	120,621人	17,382人	15,621人(114.9%)
		23	103,000人	103,239人	360人	239人(100.2%)
2期平均 20~22		101,000人	102,879人	9,267人	1,879人(101.9%)	
1期平均 17~19		—	93,612人	△7,525人	—	
16(導入前)		—	101,137人	—	—	
増減理由	日帰り利用者が減少したが、目標は達成できた。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	宿泊施設利用者及びスキー場利用者(60人)
	【主な意見】	【その対応状況】
	客室に虫がいた	客室清掃の徹底や虫の進入路を確認して対応した
	スタッフの対応が良かった	引き続き利用者の満足度を高めるようにスタッフを指導する

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務実績報告書
	日報(必要随時)	—	緊急連絡を要する事例の発生なし
管理運営会議(随時)	【特記事項等】 ・指定管理者連絡会議 ・平成27年度完了検査の実施 【指定管理者の意見】 ・施設等の改修、修繕の要望 【県の対応】 ・施設等の改修工事計画の説明 ・管理業務の履行状況を確認(→適正)		
現地調査(3月、8月に実施)			

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	4期	28	6,008		△2,002	料金収入 (決算額)	4期	28
3期		27	8,010	0	27	57,361		△25,546	
		26	8,010	223	26	82,907		△2,736	
		25	7,787	0	25	85,643		5,823	
		24	7,787	0	24	79,820		3,586	
		23	7,787	0	23	76,234		2,556	
2期平均 20~22		7,787	2,451	2期平均 20~22		73,678		12,305	
1期平均 17~19		5,336	△4,061	1期平均 17~19		61,373		△8,328	
16(導入前)		9,397	—	16(導入前)		69,701		—	

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		H28 決算額	H27 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	6,008	8,010	△2,002	指定期間更新による県委託費設定金額の減
		料金収入	59,479	57,361	2,118	利用料金制(※1) スキー場収入の増
		その他収入	122,251	124,640	△2,389	飲食収入の減
		計(A)	187,738	190,011	△2,273	
	支出	人件費	64,715	79,541	△14,826	臨時職員数の減
		光熱水費	18,886	19,522	△636	電気使用量の減
		設備等保守点検費	10,925	11,032	△107	浄化槽点検費の減
		清掃・警備費等	482	484	△2	
		施設維持修繕費	13,914	6,622	7,292	施設・設備の修繕箇所の増
		事務局費	2,918	3,391	△473	事務費の削減による減
		その他	73,132	90,748	△17,616	飲食利用減に伴う仕入れの減
	計(B)	184,972	211,340	△26,368		
	収支①(A-B)		2,766	△21,329	24,095	
	自主事業 (※2)	収入(C)	—	—	—	
支出(D)		—	—	—		
収支②(C-D)		—	—	—		
合計収支(①+②)		2,766	△21,329	24,095		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の 効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	自然環境を活用した環境学習の場として提供しているキャンプ場の利用者が増加した。	施設の設置目的に合致するように適切に運営している。
	○業務の実施による, 県民サービスの向上	利用者がより自然に親しむことができるようにスキーインストラクターや山岳ガイドの派遣を実施した。	自然に親しむことができるよう, 山岳ガイドの派遣等を企画し実施している。
	○業務の実施による, 施設の利用促進	食のイベントやバス会社と連携した登山イベントを企画し, 旅行会社への営業活動を行うなど, 利用促進を図った。	施設の利用促進に繋がるアイデアを指定管理者自身で企画している。
	○施設の維持管理	施設・設備の保守点検を適切に実施した。修繕が必要な箇所については, 県と連携して対応した。	施設・設備の維持管理に関して, 基本協定書等に基づき適切に実施している。
管理の 人的基礎	○組織体制の見直し	経験豊富な職員や臨時職員を適切に配置し, 職員間の連携を密にすることで利用者サービスの向上に努めた。	職員の業務経験等を勘案し, 職員間の連携を密にする等, 効果的に職員配置を行っている。
	○効率的な業務運営	インターネットの旅行サイトへの登録を継続し, 利用予約手続きを簡素化した。	効率的な施設運営を実施するよう努めている。
	○収支の適正	経費の削減により前年度よりも支出額を抑える努力をした結果, 収支結果は黒字となった。	経費の削減に努め, 収支の適正化を図っている。
総括		天候不順により日帰り利用者が減少したが, 積極的な営業活動によりキャンプ場利用者が増加し, 目標を達成することができた。	積極的な営業活動等により, 施設全体の目標を達成することができた。 また, 経費の節減に努め, 収支の適正化を図った。

8 今後の方向性 (課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (平成 29 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャンプ場・スキー場の利用促進に繋がる自然体験の企画を提案する。 ○ 宿泊施設の利用者を増やすためのレストランを活用した企画を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の利用促進につながるよう, 企画提案や広報等の支援・協力を行う。
中期的な対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 老朽化した施設の修繕・改修を県に要望する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 老朽箇所の修繕・改修について, 優先度の高い箇所から計画的に行う。